

令和元年度

# 自己点検・自己評価報告書(学校関係者評価)

静岡県東部総合美容専門学校

## 令和元年度学校関係者評価委員名簿

	委員	氏名	所属
1	元高等学校長	高田 道雄	常葉大学 入学センター 勤務
2	地域住民	鳥居 正浩	公立中学校 学校支援地域本部コーディネーター 警備会社 勤務
3	地域住民	永倉 えり子	キャリアコンサルタント フリーランス
4	卒業生	峯 知美	沼津市 辻写真館(美容師) 勤務
5	保護者	秋田 朝子	介護老人センター勤務
	(本校職員)		
	校長	安藤 宏通	
	教務部長	白石 美和子	
	事務長	監物 明	

# 学校自己評価シート

**\* 全て自己評価 評価 5・4・3・2・1 十分できた時は5、例年並み3、全くできなかった時は、1を記入する**

評価対象	評価項目		評価の観点	自己評価		学校関係者評価委員の意見
				2019年度	2018年度	
運営教務	教育目標	1-1 教育目標「豊かな教養」	・「豊かな教養」を念頭に教育活動を行ったか。	3.4	3.6	<p>○評価方法の改善をした方が良い。現在の方法だと「例年並み」が基準になってしまうため、前年に比べてどうかという相対評価になってしまう。</p> <p>○コンテストの結果や学生アンケートを見ると、今までの努力が形になって現れてきた。飛躍した年である。</p> <p>○県外のコンクールに出場することは自信につながるの、来年度以降も継続してほしい。</p> <p>○就職指導に力を入れ、就職先とミスマッチが起きないように丁寧な相談活動を取り入れたことは良い。</p> <p>○学生アンケートの結果から、教員の意識が変わり、学生にそれが伝わってきていることがわかる。</p> <p>○高等教育の修学支援新制度や職業実践専門課程などは、しっかりと説明をする必要がある。職員全体でも理解してほしい内容である。職業実践専門課程の認定は現時点ではまだだが、既に認定された修学支援新制度の認定は、大きな一歩である。（関係者評価会議後、認定されました）</p> <p>○修学支援新制度は、授業料などを国が払っているということである。従って卒業後、納税の義務を果たせる社会人に育てることが大切である。</p>
		1-2 教育目標「確かな技術」	・「確かな技術」を念頭に教育活動を行ったか。	3.8	3.3	
		1-3 教育目標「社会への貢献」	・「社会への貢献」を念頭に教育活動を行ったか。	3.8	4.0	
	重点目標	2 重点目標「学生が集うことができる魅力ある教育活動の工夫」	・指導内容、指導方法の工夫改善を目指したか。	3.9	3.4	
		3 重点目標「国家試験の準備と各種資格試験への積極的な取組」	・全員合格を目指し、工夫改善を行ったか。	3.8	3.8	
	生活目標	3-2 「整理整頓清潔」「笑顔で挨拶ありがとう」	生活目標の指導を積極的に勧めたか。	3.7	3.9	
	教育課程	4 全体計画	・国家試験の合格率上昇と各種コンテストの入賞者増加に結びつけることができたか。	3.6	3.5	
		5 計画性	・目標達成に向けて計画的に実施しようとした。	3.7	3.4	
	教務	6 出席簿の記入、学籍管理	・公簿への記入を適切に行ったか。	3.6	3.5	
		7 自習の削減・授業時間確保	・授業時数の確保をしたか。 ・自習の時間の工夫がされたか	3.8	4.1	
		8 諸表簿の整理、通信票	・諸表簿や通信票の整理や管理ができたか	3.3	3.3	
	分掌	9 運営組織	・分掌の仕事を積極的に行うことができたか。	3.3	3.3	
・周囲の人の仕事をフォローすることができたか。			3.2	3.4		
11 学年・学級経営		・学年・学級の実態をとらえた適切な経営ができたか	3.0	3.2		
学校運営全般	12 職員会議・打合せ	・職員間の共通理解に役立てようとしたか。	3.8	3.7		

評価対象	評価項目		評価		学校関係者評価委員の意見	
			2019年度	2018年度		
研修	13	研修	学生の技術力向上、国家試験、大会対応のための教員研修が行えたか	3.6	3.8	<p>○今まで以上に熱心な学生が増えてきたと思う。目標にある「挑戦する心」が育ってきたといえる。</p> <p>○新しい研修を全職員で行い、教育課程に取り入れようとするところが素晴らしい。</p> <p>○教員の意識や姿勢が変わってきていると感じる。教員研修に熱心なことや学生が積極的であること、職員も学生も前向きな姿勢であることなど、教員の意識が変わると良い現れが出てくる。これからはますます楽しみである。</p>
	14	教師の意識改革	研修を通して自分の意識が変わったか	4.0	4.6	
	15	研修成果の還元	・研修の成果を学生に還元できた。	3.6	3.8	
	16	学生の変容	・研修を行って学生の変容が見られたか	3.9	3.8	
学習指導	17	カリキュラムに教育目標が反映されているか	・年間計画の目標に沿って、計画的に実施できたか	3.4	3.0	○教育課程編成会議や学校関係者評価会議など、その結果を積極的に活かしている様子がわかる。
	18	教材研究	・教材研究を積極的にしたか	3.6	3.4	
	19	資料・教具等の活用	・教科の資料や教具を活用し、工夫した指導が行われたか	3.1	3.4	
学生指導	20	問題行動防止の事前指導	問題行動防止のため、日頃から指導できたか	3.2	3.4	○生徒指導については、年間指導計画や重点指導項目などを見直し、指導体制について考えることも大切であると思われる。
	21	問題行動への対応と指導	学生を理解しようとしたか。	3.5	4.0	
	22	机廻りの整理整頓	帰るとき机の上はきれいになるよう指導したか	3.3	3.5	
特活指導	23	一人一人の学生を生かした学級経営 ★担任、副担のみ	・一人一人の学生を生かした学級経営を工夫できたか	3.8	3.8	○学生アンケートの結果（「先生方は、学生のことを理解しようとしてくれた」85.4%、「本校に入学して良かった」79.2%、「笑顔で挨拶ができた」79.2%、「学校は楽しい」66.7%の学生が満足度60%以上だった。）とコンテストの結果、資格取得者の結果を見て、大変良い結果だったといえる。維持発展してほしい。
	24	学級活動の指導計画と実践 ★担任、副担のみ	・学級活動の指導計画と実践は適切に行なうことができたか	4.0	3.8	
	25	美容フェスティバル	・学生の主体的な活動で、行事を創り上げることができたか	3.5	4.2	
保健	26	保健指導全般	日常の衛生指導に心がけたか	3.8	3.7	

評価対象	評価項目	評価の観点	評価		学校関係者評価委員の意見
			2019年度	2018年度	
防災	27 防災訓練（6，9月実施）	防災訓練の指導に積極的に関わったか	3.3	4.0	○昨年より評価が低かったが、職員の意識は高まっていた。マンネリ化しないよう訓練内容を変化させながら、改善すると良い。 ○安全点検には気を配っているが、例年とあまり変化がなかったということなので、方法等を改善するのも1つのやり方である。
	28 教室等の安全点検	教室等の安全点検はしっかりできたか	3.2	3.8	
庶務	29 施設の管理と営繕の進行	・管理分担場所の整備や営繕は円滑に行なったか	3.7	3.6	○学生が目線で、整備や営繕をしてきたことが伝わってきた。
	30 可燃物、不燃物置き場の使用状況	・「三島市のごみ出しルール」に基づいて可燃物と不燃物（金属、ガラス、割れガラス、電池）を分別して捨てる指導がなされたか	3.6	3.8	
	31 備品の管理	・机、椅子や備品の正しい使い方指導が適切に行われたか	3.2	4.0	
清掃	32 清掃指導	各清掃場所の指導・点検は適切に行われたか	3.5	4.0	○玄関に入ると、校内が綺麗になったことがわかる。掲示を始め様々な工夫が見られる。
事務	33 届け出の処理	出張届、年休簿、諸手当等の処理は適切に行われたか	3.5	3.3	
	34 管財関係	無駄のない物品の購入、保管、点検は速やかにできたか。	3.4	3.3	
	35 起案や伝票等の処理	起案については迅速・適切にできたか	2.9	4.0	○起案の必要性や手続きについては、根気強い指導が必要である。
	36 無駄遣いについて	実習室・教室等のエアコン・電気・水道水の無駄を省けたか	3.4	3.8	
財務	37 財務状況について	（ホームページの情報公開財務状況を参照）適切な執行ができたか	3.0	—	○助成金などを積極的に利用して、教育活動が更に充実するよう期待する。

今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

自己評価の項目や評価の基準を見直しながら、より良い自己評価にしていきたい。「職員と学生が努力をしている姿がよく見えてきた」と委員の方々から話があった。教育の質向上にむけて努力し、PDCAサイクルを意識して改善してきたので、努力が報われた感じがした。また、委員から本年度の良い点は維持発展してほしいという意見もあった。学生も職員も学び続ける雰囲気作りをし、常に新しい学校を目指していきたい。